



Japan. Endless Discovery.

Japan. Meetings & Events
New ideas start here

観光で地域の元気を取り戻そう

せとうちの観光地は元気です！

帆船「みらいへ」の寄港とSTU48による発信

平成30年7月豪雨により中国地方各地に大きな被害が発生し、特に瀬戸内沿岸の市町では住宅街や交通網への被害により、多くの方が不自由な生活を長期間おくらざるを得なくなりました。一方観光地、観光施設はほとんどが大きな被害が無かったものの、風評や自粛ムードなどでキャンセルや来訪者の大幅減少などが相次ぎ、厳しい状況が続いています。

中国運輸局では、海事局、(一社)グローバル人材育成推進機構と協力し、機構所有の帆船「みらいへ」による被災地支援を計画し、機構主催の「せとうち元気プロジェクト」として、被災地の住民を元気づけ、帆船と瀬戸内海の魅力を発信することで地域の活性化につなげることを目的に取り組みました。



帆船「みらいへ」

私たちは今回観光客源の実態が報道される瀬戸内沿岸の市町に声をかけ、受入可能であった尾道市、竹原市、呉市の各港を帆船が訪問し、船内一般公開や瀬戸内海の島々を巡る体験航海などのイベントを実施するもので、尾道市は8月31日～9月2日、竹原市が7日～9日、そして呉が15日～16日に入港し、それぞれでイベントを実施しました。

尾道市では一般公開に雨天の中、1,600名以上の方が船を訪れ、夜間ライトアップされた帆船が市民のSNS等で発信されるなど、注目され、翌日の体験航海へも多くの方が乗船されました。当局尾道海事事務所が入港セレモニーへの出席や、観光などのパンフレット配布、イベントへの協力を行いました。



尾道港入港セレモニー



尾道海事事務所・パンフレット配布



9/1 船内一般公開

翌週の竹原市へは尾道港からウサギの島の大久野島を経由して竹原港へ入港し、地元小学生の和太鼓演奏に迎えられながら入港セレモニーを実施しました。イベントはまたも雨に悩まされ、体験航海は中止せざるを得ませんでした。竹原市は呉線の不通が続いていますが、広島からの高速バスかJR代行バスで十分訪れることができます。また大久野島へは三原からの高速船「ラビットライン」(週末運行)でも行くことができます。



竹原港入港セレモニー



小学生和太鼓による歓迎



大久野島のウサギ

9月15日の呉市は、瀬戸内を中心に活動するAKBグループの一つSTU48（国土交通省の「C to sea プロジェクト」アンバサダーに任命されている。）の協力を得て、呉市、呉地域観光連絡協議会とも連携し、「呉地域に来てクレ！観光PRプロジェクト」として呉地域の観光を発信することを目的に盛大に実施し、当日は多くのファンや市民、観光客が呉港周辺に集まりました。9月9日から呉線の坂駅～広駅間が復

旧し、広島から呉へのアクセスが回復しました。イベントに参加した市民も「これから呉に多くの人が訪れてくれるとうれしい」とインタビューに答えていました。



呉港入港セレモニー



多くの市民・観光客が「みらいへ」の一般公開に



大和ミュージアムで呉のゆるキャラ「呉氏」と



アレイからすじまの潜水艦隊の前で



呉のスイーツ・甘酒ソフトクリーム